



2023年

サクランボ病害虫防除暦

JA中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用回数 (以内)	散布量 (ℓ/10a)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
月 日	発芽前	①(水98ℓ) スプレーオイル アプロードフロアブル	2ℓ 100mℓ	発芽前 7日前	— 2回	300	(ハダニ類) カイガラムシ類	①胴枯病の枝は切り取り焼却する。剪定及び患部の削り取り後は、塗布剤を塗布する。 ②(胴枯病)の発生が心配される場合は、石灰硫黄合剤の10倍(発芽前)を単用散布する。 *石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールに飛散しないよう注意する。
*コスカシバ発生園は、開花期までにフェニックスフロアブルの500倍(開花期まで、1回・10aあたり5～200ℓ)を樹幹部及び主枝に散布する。								
月 日	4月中下旬 開花直前	② 展着剤(ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル	10mℓ 50mℓ	前日	3回	350	灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病	①ハマキムシ類 発生園は、フェニックスフロアブル 4,000 倍(前日、2回)を加用する。
月 日	5月上旬 落花直後 (前回から14日後)	③ 展着剤(ハイテンパワー) サムコルフロアブル 10 ベルコートフロアブル	10mℓ 40mℓ 50mℓ	前日 7日前	3回 3回	400	灰星病 ケムシ類、コスカシバ ハマキムシ類 オウトウショウジョウバエ	
月 日	5月中下旬 (前回から14日後)	④ アーデントフロアブル ナリアWDG	25mℓ 50g	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 (幼果菌核病) オウトウショウジョウバエ	① 今回から収穫終了後まで展着剤は使用しない。 ② オウトウショウジョウバエ(カメムシ類) 発生園は、アーデントフロアブルに代えてバイスロイド EW4,000 倍(7日前、2回)を使用する。(果実汚染注意する。) ③ ナリア WDG は、ぶどう(ピオーネ)洋なし(ル・レクチェ)等に薬害が生じるので、飛散しないようにする。
月 日	6月上旬 (前回から14日後) 高砂、佐藤錦など 最終防除	⑤ オンリーワンフロアブル ディアナ WDG	50mℓ 10g	前日 前日	3回 2回	500	灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 オウトウショウジョウバエ ハマキムシ類	
月 日	6月中下旬 紅秀峰 最終防除	⑥ ナリアWDG コルト顆粒水和剤	50g 10g	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 (幼果菌核病) オウトウショウジョウバエ	①ナリア WDG は、ぶどう(ピオーネ)、洋なし(ル・レクチェ)等に薬害が生じるので、飛散しないようにする。
* 特別散布(6月下旬～7月上旬): 灰星病・(黒斑病)対策としてパレード 15フロアブル 2,000 倍(前日、2回)を特別散布する。								
月 日	7月上中旬 収穫終了 直後	⑦ 展着剤(スカッシュ) トレノックスフロアブル エコマイト顆粒水和剤 ダイアジノン水和剤 34	100mℓ 200mℓ 50g 100g	21日前 7日前 14日前	5回 1回 2回	600	灰星病・炭そ病 幼果菌核病 褐色せん孔病 アブラムシ類 ウメシロカイガラムシ ハマキムシ類 ナミハダニ類 アメリカシロヒトリ	①【せん孔病対策】 トレノックスフロアブルに代えて、キンセツ水和剤 80 の 1,000 倍(収穫後～落葉期、3回)を使用する。ただし、薬害が心配されるため、クレフノン 100 倍を加用する。 ②【代替】エコマイト顆粒水和剤に代えてダニコングフロアブルの 2000 倍(前日、1回)を使用してもいい。
月 日	7月下旬 (前回から14日後)	⑧ 展着剤(ハイテンパワー) コロマイト乳剤 オキシラン水和剤 サイアノックス水和剤	10mℓ 100mℓ 166g 100g	7日前 収穫後～落葉期 14日前	1回 3回 2回	600	せん孔病 ハダニ類 ケムシ類 (ハマキムシ類)	
月 日	8月上旬 (前回から14日後)	⑨ 展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル サムコルフロアブル 10	10mℓ 200mℓ 40mℓ	21日前 前日	5回 3回	600	灰星病・炭そ病 幼果菌核病 褐色せん孔病 ケムシ類 コスカシバ ハマキムシ類 オウトウショウジョウバエ (アメリカシロヒトリ)	
月 日	9月上旬	⑩ ICボルドー66D ダイアジノン水和剤 34	2.5kg 100g	— 14日前	— 2回	600	褐色せん孔病 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ ウメシロカイガラムシ	① コスカシバ 発生園は、落葉後にラビキラー乳剤 200 倍(落葉後～発芽前、1回)(スミチオン乳剤なども回数に含め 2 回まで)を樹幹部及び主枝に十分散布する。

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

当防除暦の複製・コピーを禁止します

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤